

事業所名

パステルプチブレイブランド

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

23 日

法人（事業所）理念		誰もが個性を活かして、生きやすい未来をつくる。			
支援方針		お子さま一人ひとりの個性と成長にあわせて適切で柔軟な「療育」を行い、保護者の皆様の困り感に寄り添う。			
営業時間		9 時0 分から18 時0 分まで		送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・生活に必要なスキルに意識を向けられるようになる。（靴、靴下の着脱、トイレ後手を洗う、上着をハンガーにかける、鼻をかむ、水筒・ペットボトルの蓋開け） ・自分の持ち物は自分で管理できるようになる。（決められた場所に荷物を置く、忘れ物をしないようにする）			
	運動・感覚	・基礎体力の向上と体幹を育てる。（サーキット～歩く・跳ぶ・くぐる・登る・ぶら下がるなど ・平均台、トランポリン、バランスボールなど） ・手先の巧緻性の向上を目指す。（つまむ、掴む、引っ張る、ひねる、はめる、結ぶ、通す、混ぜる、すくう、貼る、塗る、描く、折る、切る等 ・運筆活動の基礎練習）			
	認知・行動	・理解できる名詞、形容詞、動詞、副詞が増える。・反対語や抽象的な言葉の理解が進む。（絵本読み聞かせ、パネルシアター ・絵カードや具体物の比較） ・視覚的にわかりやすい掲示やカリキュラムにより、見通しを持って安心して行動できる。 ・就学へ向けてひらがな、カタカナ、数概念、カレンダーや時計の理解を進める。（MIMによる特殊音節の習得、10までの数の合成と分解の理解、時間の概念） ・状況に応じて、着席する、静かにする、順番に発言することができる。			
	言語 コミュニケーション	・言語の受容と表出（表情や指差し、身振り、絵カード等を用いて非言語での意思のやりとりを促していく） ・自分の思いや要求を言葉で伝えられるようになる。（自分の伝えたいことを簡素に適切に伝えるよう療育者が仲立ちして支援する） ・相手からの働きかけや状況に注目して、言葉で説明、返答ができるようになる。（ショウアンドテル、会話のキャッチボール） ・5W1Hを意識して、他者に話すことを目指す。			
	人間関係 社会性	・その場・状況に適した挨拶をする。（おはようございます、こんにちは、さようなら、貸して、どうぞ、ありがとう） ・環境（場所や人）に対する安心感や他者や自分に対する信頼感を育む。（ごっこ遊び、触れ合い遊び） ・他児とのかかわりの中でルールを学び、協力することの大切さに気づき関係を深めていき、集団行動への意識付けをおこなう。 （勝ち負けのある遊びやゲームを通して他者を意識したり協力することの楽しさの経験を積んでいく。人との距離感を知る。順番を守る。 悔しい・うまくいかないという思いを安心して言葉にできたり、受け入れられるようになる。）			
家族支援		・療育中の様子を写真に撮り、プログラムとめあてを添えて報告シートを作成し保護者に配布する。 ・療育の内容やお子さまの様子の説明、ご質問やご相談を受ける。 ・子育て中の困り感や疑問について共有し、助言する。		移行支援	・ご家族の希望に応じて、お子さまの園との情報共有や訪問を実施する。在籍園での集団場面での様子や困りごとなど共有し、関わり方や環境調整など提案をする。就学後の療育情報を保護者に提供する。
地域支援・地域連携		・お子さんのお住いの地域の児童発達相談係、こども発達センター、児童発達支援事業所と連携を図っていく。（主に杉並区）		職員の質の向上	・療育後の振り返り共有 ・週1回全体ミーティングを行う。 ・療育に関する研修 感染症・防災に関する研修 虐待防止研修 事例検討会 発達検査に関する研修
主な行事等		・季節に合わせた行事（お正月、節分、ひな祭り、端午の節句、七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス） ・祝日イベント（英語リトミック、工作イベント、音楽リトミック） ・年長児保護者に対しての就学へ向けての説明会			